

機織奉公人請狀

代金七萬三万

一此手書きと申す者惣代奉公人等之
主處方より去る年五歳より此處にて相宜貯
金代金と申す金七萬三萬隨文而御申す
室西内産印本錦 以上金七萬三萬隨文而
割合ヲ取據て 一月度に核算にて後當事
出車輿之内内氣入出山火人代金と申す
金七萬三萬相宜之手印万石有五通欠漏仕事
繫とも所外もの雜物等常及びづ稀少し
度度候附主處方へ申居内苦方相取れが事浦
一御空儀様此後度々儀と申す、此處より此法
相存せん國小豆内氣入出少しが僅文、数何年
以至きて申ゆる所候日より僅文仍る如许

天保十一年

高宗月

農村

人乞

漢舊

達見之左

付

主人
重而舊